

後援会だより

★第43回街頭募金ご協力有難うございました！

昨年12月の街頭募金のご報告と御礼を申し上げます。例年に比べ暖かい12月でしたが、それでも長時間街頭に立つと、からだの芯まで冷えきってしまう、そんな盛岡市内の街頭募金に、延べ199名（昨年178名）の方が参加して下さいました。募金累計347,616円（昨年285,453円）でした。今回は小さき群の里の建替え事業の資金を呼びかけての募金活動でした。ご協力下さったすべての皆様本当に有難うございました。集合場所としてカトリック四ツ家教会をお借りしました。御礼申し上げます。

★2016年度教会訪問のご案内とお願い

教会訪問は後援会の働きの中で、中心的に大切な役割だと思っています。新年度は5月中旬～7月中旬を目途に訪問させて頂きたいと準備を始めました。

盛岡市内7教会、県内5教会を企画、該当教会に文書をもってお願い申し上げます。後日、担当理事よりご都合を伺い具体的な段取りに入ります。該当教会の皆さま、どうぞご協力よろしくお願い申し上げます。

★「現場では今」の連載について

下段の「現場では今」では、各事業所の働きの様子をお伝えしていますが、今回から、「小さき群の里シリーズ」として、6作業科の連載を致します。併せて2017年末竣工に向けて取り組んでいる旧施設建替えの大事業の進捗状況などもご報告していきます。どうぞご関心をお寄せ下さりご支援頂けますようよろしくお願い申し上げます。

現場では今

生活介護事業

「小さき群の里」シリーズ 1〈農場〉

“無農薬野菜はいらんかねえ！”

農場では奥中山開拓で入植された野澤さんから譲り受けた土地で、奥中山高原の自然豊かな大地の恵みを受け新鮮な野菜を作っています。無農薬栽培と有機肥料を活用し、安心・安全な野菜作りに利用者6名と職員2名で励んでいます。ハウスでは、トマトや茄子、ピーマン等6品種を10月末まで収穫し、圃場では大豆やじゃが芋、リーフレタス等葉野菜や豆類を16品種栽培しています。

その他、保存食や加工も手掛けています。秋深まってから大根を収穫し販売用と加工用に分け、冬の間は土むろの中で保存し、順次春まで出荷します。冬の寒さを利用した保存食「寒干し大根」作りにもチャレンジしてみました。作り手が少なくなってきたと言われる郷土食ですが、寒さが一段と厳しくなる1月に、寒さ・冷たさに負けないよう、大はしゃぎしながら皮をむき、手間をかけて作ります。また、収穫し、厳選した大豆で手作り麴をふんだんに使用した味噌も作り、旨味が豊かで家庭の味と自家消費の他、地域の方々にも好評です。味噌加工は2月末まで続きますが、毎年作り終えた達成感と仕上がりに期待を膨らませています。地元の方々の知恵を借り、「手作りの方が美味しいに決まっているねえ」と郷土食として伝わってきた作物を守り残していきたいと思っています。

野菜は、人の心と体を元気にする源です。これからも体力の源となる美味しい野菜作りに励み、皆様と触れ合う機会を楽しみにしています。
(農場担当：釜石喜代実)

No.30

発行 2016年3月18日

編集 カナンの園後援会
実務委員会

〒028-5133 岩手県二戸郡
一戸町中山字大塚4-7

TEL 0195-36-1026

FAX 0195-36-1027

<http://canaan-jp.net/>

(カナンの園 URL)

郵便振替 02330-6-6631

加入者名 カナンの園



(街頭募金の様子)



(教会訪問の様子)

＜募金のお願い＞

カナンの園がより良い運営を行うために皆さまのお力が必要です。特に小さき群の里建替え計画は、補助金などの目途が立たず、自己資金、借入金、寄付金により進めることになり、募金のお願いをしています。

上記振替口座に、また機関誌同封の振込用紙を用いてください。「法人活動のため」「里建替えのため」等と用途をご記入頂くとそのように用いさせていただきます。どうぞご協力をお願いいたします。



(農場のハウスで作業するSさん)